

青嶺 SEIRI

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

「運」を味方につけるために 夏季総合大会推戴式「激励の言葉」

各部活動の皆さん 日時は競技によって異なりますが、いよいよ三年間の集大成である夏季総合体育大会が開催されます。

今の気持ちはどうでしょう？与えられた時間は皆同じですが、全力を尽くし何の後悔もない人はあまりいないかもしれません。もったいないとおけばよかったという悔いが残っているかもしれません。

しかしそれは相手も同じこと。もしかしたら自分たちよりもっと不安を抱えているかもしれません。勝負は時の運といいますが、その運を引き寄せるには気持ちの持ち方が大きく影響します。

過ぎ去ったことは変えようがありません。これから先のことだけを考えましょう。そしてそれまでの練習を信じ

仲間を信じ、自分自身を信じ、目の前のワンプレーワンプレーに全力で集中してください。

運は決して偶然ではありません。「勝ちたい」という気持ちが強い方に運は味方します。どんなに点差がついても決してあきらめない心を捨てない方に味方します。

体育大会でも言いましたがすべてを出し切って下さい。最後の最後まで青嶺中らしく粘り強く頑張ってください。そうすればきっと、あなたたちの心の中に一生残る素晴らしい大会になるでしょう。すべてを直接見て応援することはできませんが、みんながそれぞれ自分の役割を果たし、全てを出し切れるよう心から願っています。笑顔で頑張ってください。

人類の「進化系」

私が所属している国語の勉強会のセミナーが毎年全国各地で行われ、各地での実践発表を学んでいます。その年は札幌で開催されました。私は宿泊場所が指定されているとき以外は、ゲストハウスという宿に泊まり宿泊費を節約します。ただ無駄なお金を使わないことが目的かといえば、決してそれだけではなく、同じ部屋に集まった人たちとの出会いや交流、ゲストハウスを運営しているスタッフやオーナーとの再会が楽しみだからです。

札幌ではフランス人の火山研究者、フーリアンとなぜか気が合い、世界を旅してきた宿のオーナーも交えて一階のカフェ兼バーで遅くまで語り合いました。お互いの国のこと、仕事のこと、そしてこれからのこと：そんな中で、私の耳の話題になりました。その少し前に突然左耳が聞こえなくなりました。私は、当時生徒の言葉をうまく聞き取れず、これからのことを考えると途方に暮れていました。

私の話を聞いていたフーリアンは、「大昔、人類の視力は恐ろしく高かった。それは狩りをしていくからだ。獲物を見つけるために必要だった。今は眼鏡やコンタクトが欠かせないくらい低下している。なぜだかわかるか？必要がないからだ。人類は環境に

て進化したんだ。君の耳だってそうだ。現代社会は情報に溢れている。聞きたくないものも耳に届く。だから、聞く必要がない言葉を聞かないでいいように体が進化したんだよ。君は人類の進化系だ。」

なんだか肩の力が抜けこれからもきつとどうにかなる、できる力が湧き上がってきたのを覚えています。彼のおかげで自分自身のなかでケリがつき、聞き取りにくいことを逆手にとって、授業づくりを一から見直しました。出来ないことを嘆くより前向きに出来ることを見つけよう。私にとつて物事の見方や捉え方の劇的な変化をもたらした人の中で、の大きな大きな転機でした。

強いチームとは

高校最後の大会の400mリレー、ほんの僅かなバトンミスで予選敗退しました。

リベンジすべく大学で入った陸上競技部は部員が少なく、存続すら危ぶまれましたが先輩たちが徐々に増えて、最上級生の時にはリレーが組めるくらいになりました。最後の一年間はとても充実していて、あつという間に大学最後の大会が迫ってきました。

最後の試合に向け、バトンを磨き上げるため、タイムングを体覚えこむまで何度も繰り返し返し、ただひたすら走りまわした。直前には後輩達が合宿を企画し、バトンパスを中心に陸上漬の毎日を送りました。

やれる事はすべてやり、大会本番は驚くほど平常心で臨みまわした。大きな大会ではないので一発決勝です。私立の強豪校に個々のタイムでは負けるものの磨き上げたバトンパスで真正面から勝負しました。

結果チームベストで優勝することができました。トップでゴールに飛び込んだ瞬間、駆け寄ってきた後輩たちと抱き合ってた喜んだ瞬間は一生の宝物です。

チームワーク、個々人の気持ちの強さ、練習量、きつとそのすべてで他のチームを上回っていたのでしよう。それが元々の能力を超えて勝利につながったのだと思います。「本気」で目標に向かう、そのための準備を「徹底」する。何かを成し遂げようとする時、とても大切なことだと私は思います。皆さんはどう感じましたか？

校長室より

窓を開けると伊万里湾からの涼しい風：爽やかな気候ですが、日々ちよっとした変化も。梅雨に隠れて夏近し！ですね。